

蚕都上田で室内楽を織る 蚕都上田・リベラルアーツ音楽祭 事業

取組に至る背景・事業の目的

古くは、奈良時代に信濃国分寺が建てられ、鎌倉時代には“信州の学海”と遠方からも学問を修めに多くの人を訪れ、近代では、農民美術や児童自由画運動や、地方一般の民衆が自由に大学教育を受ける機会を得るための自由大学運動が起こるなど、学びや芸術において多彩なバックグラウンドを持つ上田地域であるが、現在の芸術文化の点においては、長野市や松本市に及んでいない状況にある。本事業では、クラシック音楽を「聴く文化」を育てることをきっかけとし、文化的なものを全般に興味や関心を持つ人を増やし、上田地域の芸術文化レベルの向上を目指す。また、文化を通して人が繋がることで、地域全体に明るさと活気が生まれることを目的とする。

これまで、蚕都として栄えいち早く横浜から西洋文化が入ってきたという上田地域の歴史と、西洋音楽の出会いをテーマにコンサートと講座の実施（支援金1年目）や、「非日常空間で、室内楽の体験をする」をテーマに、生演奏を古民家で実施し市民がクラシック音楽に身近にふれる機会を創出する事業（支援金2年目）など実施してきた。これらを経て、支援金事業の集大成となる3年目には、「音楽祭」と銘打ち、難しいと思われがちクラシック音楽の面白さを知ってもらえるよう、朗読や演劇要素を含めたストーリー性のあるコンサートや、弦楽器奏者だけによる弦の豊かな響きを体感するコンサート、市民によるリコーダーアンサンブルへの参加など、一方的にならない、上田地域らしい「学び的な形」としての音楽祭を実施した。

事業内容

・7月「自由大学誕生から100年 蚕都上田で市民が創る音楽祭スタートイベント」

クラシック音楽鑑賞の他、蚕都として栄えた時代の上田の町の様子に関する朗読や、上田自由大学誕生についての講演、島崎藤村の詩やエッセイの鑑賞を実施。

・8月「弦楽の響きを詩とともに 22人の弦楽アンサンブル」

宇宙の広がりと思わせる純正律の響きという弦楽器の魅力を味わい体感できるコンサートを実施。長野県出身者を中心に組織されているアンサンブルによって、ホールに音色を響かせた。また谷川俊太郎の詩『音楽の肖像』の朗読により作曲家を身近に感じつつ、その作品を原曲で鑑賞した。

・9月「ストーリー・コンサート『不屈の人 ベートーヴェンの軌跡』」

伝記を読むようにクラシック音楽を聴く、という形をとり、構えることなくベートーヴェンの作品を自然に、かつじっくりと味わえるように実施。

・10月「ストーリー・コンサート『バッハ 王の音楽』」

伝記を読むようにクラシック音楽を聴く、第2弾は、音楽の父と呼ばれているバッハをテーマとして実施。名曲「音楽の捧げもの」に隠されたフリードリヒ王との逸話を基にコンサートを進めた。フリードリヒが音楽を愛しフルートも奏し作曲もしていたことから、フルートを交えた室内楽を取り上げた。

・11月「リコーダーで市民と創るシェイクスピアの音楽『ロミオとジュリエット リコーダーの音色が聴こえるよ』」

シェイクスピア時代にリコーダー音楽が栄えていたことを起点とし全体を構成。プロ俳優による「ロミオとジュリエット」劇中に市民参加のリコーダーアンサンブルを挿入。

生演奏を入れることで役者の生の息遣いと、音楽とが生き生きと劇を盛り上げた。



【バッハの音楽をじっくりと鑑賞】

事業効果

大規模な公演1回ではなく、サントミュージゼ小ホールでの公演を繰り返し行うことにより、新しい人が参加する機会が増えていった。また、朗読やリコーダー、演劇という要素を取り入れたことで、来場者の幅が広がり、同時にこれまでのクラシック音楽の鑑賞とは異なるアプローチでその魅力を伝えることができた。音楽祭に来ていただいた観客は計582名。出演側に参加した市民は計19名、運営に携わった市民は計25名となった。事業の多くを市民が担って創り上げたことは、当団体に限らず地域の自信にもつながり、何より活動が継続していく原動力となったと思われる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

コンサートの内容や出演者の幅を広げていること、関連イベントの開催など、出来るだけ新しい人が参加出来る内容となるよう工夫してきた。その上で活動資金を得ることが活動の中でも一番の課題となっているので、今後はこの点に本格的に取組んでいきたい。

【選定のポイント】支援金を活用した3年間で、様々な工夫を凝らし事業を計画・実施した。団体が掲げる高い目標の実現に向け、内容には常に発展が見られた。このように高い熱意と実行性は、他の良い模範になると考えられる。

団体名：クラシック音楽に親しむ講座の会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先：代表 和田みどり	事業費	3,669,910円
メール：maisy40@pol2.ueda.ne.jp	支援金額	2,481,000円